

市内で鳥インフル疑似患畜発生 採卵鶏10万3887羽を殺処分

1月12日、市内の養鶏場で鳥インフルエンザが疑われる事例が発生したことから、市は同日「鳥インフルエンザ対策本部」を設置し、県と協力して対策に乗り出しました。

県は同日すぐに遺伝子検査を行い、翌13日「高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認された」として、殺処分を開始しました。

その後、市からも防疫対応に従事する職員を派遣するなどの協力体制をとる中で、15日(日)16時には103,887羽の採卵鶏の殺処分が終了したことが発表されました。

県はこの件に関して、次の点を発表しています。

- ◇ 殺処分が終了し、今後、農場の清掃・消毒作業を継続して実施します。
- ◇ 我が国では、これまで家きん卵及び家きん肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは報告されていません。
- ◇ 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、生産者の

方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いします。特にヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。

- ◇ 今後とも、本件に関する情報提供に努めますので、生産者等の関係者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。

日本共産党議員団として、当該の養鶏場及び周辺の市民のみなさんに心からお見舞い申し上げます。

なお、鳥インフルエンザに関する養鶏農家への補償金は殺処分時の鶏の日齢で決まるため、成長後に出荷・採卵をして得られる額との差が十分補填されないという問題が指摘されています。日本共産党はこの問題をいち早く国会で指摘(2020年12月8日衆院農林水産委員会で田村貴昭議員)し、「同様の制度課題を抱える豚熱の事案で、発生した77農家のうち18農家が廃業している。支援が必要だ」と求めるなどの取組を行っています。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.779 2023年1月22日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

**上越保健所管内新型コロナウイルス感染症
感染者発生状況 (1月15日現在)**
1/9~1/15

感染者総数 1,081人(前週-247)
1日平均 154.4人(前週-35.3)

電力料金

昨年比30~40%もの高騰

2月には政府による「激変緩和措置」
しかし、4月には値上げを申請中(東北電力)

電力料金の値上げが止まりません。特に昨年12月(支払)分、今年1月(支払)分の電力料金は著しく上がっており、世帯によっては昨年同月比40%もの値上げになっています。

これは、毎月の電力料金が通常
の単価に加えて「燃料費調整額」が
加算されているためです。

この「燃料費調整額」が、東北電
力の場合、下の表のように大きく
上がっていることから、実質的に
大幅高騰となっています。

政府は、こうしたエネルギー
価格の高騰対策として、「電気・
ガス価格激変緩和対策事業」を行
うとしており、その効果として
今後の燃料費調整額が若干引き
下げられます。これは、政府が
電力会社に料金の値引きの原資
となる補助金を交付し、それに
応じて燃料費調整額を電力会社
が引き下げるといふものです。

東北電力の場合、これを受け
て、2月分の燃料費調整額は1
月分の約半額の6・81円となる

ことが明らかになっています。
しかし、この額は昨年6月分
から11月分までの燃料費調整額
の約2倍です。あいかわらず高
騰状態が続くということになり
ます。

加えて、東北電力は今年4月
から基になる電力料金の値上げ
を申請しています。その値上げ
幅は平均32・94%と、「平成」以
降では最も大きな上げ幅です。

これらのことから、電力料金
は高騰が続くか高止まり状態に
なることが予想され、家計を圧
迫する要因が消えないことに
なります。

値上げの理由としては、ロ
シアのウクライナへの侵攻な
どで火力発電の燃料価格が高
騰し、このままでは燃料調達
や設備の更新などに支障が出
るおそれがあることなどを挙
げています。しかし、これは
発電のためのエネルギー源を
他国の化石燃料に大きく頼っ
ていることが根本の原因で

東北電力の燃料費調整額(単位:円/1kwh)

年月	金額	年月	金額
2022年1月	0.82	2022年8月	3.47
2022年2月	1.83	2022年9月	3.47
2022年3月	2.67	2022年10月	3.47
2022年4月	3.05	2022年11月	3.47
2022年5月	3.36	2022年12月	12.57
2022年6月	3.47	2023年1月	13.41
2022年7月	3.47	2023年2月	6.81

す。しかも、そのことで地球温
暖化ガスを常に大量に放出して
います。
そこで、再生可能エネルギー
を活用して電力を生み出すよう
にすれば、他国産の燃料価格に
に左右されないだけでなく、将
来的にはごく安価に電力を作り
出すことができます。加えて、
地球温暖化ガスも排出せず
みます。
今こそ、再生可能エネルギー
の利活用で本気で取り組んでい
くことが必要です。